

本メールは、一般社団法人日本 LCA 推進機構のメール会員登録をさせていただいている方へお送りしています。この場をお借りしまして、ご登録いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

/// I N D E X ///

- ・メルマガニュース……………
  - LCA のオンライン研修：中級編を行います。
  - ISO/TC323(サーキュラーエコノミー)のオンライン総会がありました。
- ・特集…………… 新型コロナウイルス後の”new Normal”
  - ・たくさんの皆さんが返信をくださったのですごく長いです。。。。
- ・編集後記…………… 英語と LCAF メール女性会員数

■ ニュース ■

○LCA のオンライン研修：中級編を行います。

・オンライン研修「速攻：初歩の LCA」の受講希望者が予定の 10 人より多くなりました。申し込んで頂いた方の中にはとうてい初心者とは思えない方がいらっしゃいますので、その人達には「速攻：LCA の実務」と題した中級編をご紹介します。8 月のお盆休み後半に実施、全 4 回(1 回 60 分)です。3,000 円/1 回で、受講したい回を選択できます。初級編と同じように「演習で学ぶ LCA」を教科書に使用します。

・中級編ですので、受講ご希望の方に学びたいことを聞くアンケートを行い、希望者が多いテーマでカリキュラムを決定します。日程が合わなければ受講できないことは承知の上ですので、受講を希望するかもしれないと思う方は、<[a.inaba@lcaf.or.jp](mailto:a.inaba@lcaf.or.jp)>にメールをください。アンケートをお送りします。

・初級編も秋にまた開講します。今回は定員オーバーでお断りせざる得ませんでした方もいらっしゃいます。秋に是非お申し込みください。

○ISO/TC323(サーキュラーエコノミー)のオンライン総会がありました。

・6 月 15 日(月)～6 月 19 日(金)欧州(2:00pm)、米国東部(8:00am)、日本(9:00pm)から毎日約 3 時間半オンラインで行われました。TC323 は現在 4 つのワーキンググループ(WG)で構成されていますので、初日(6/15)と最終日(6/19)が全体総会、中間の 3 日(6/16,17,18)が WG に分かれての議論でした。

・WG1: Framework and principles for implementation : ここが TC323 全体の内容を決定するはずなのですが、そもそも「サーキュラーエコノミーって何だ?」という定義が決まらなないと、後の WG2～4 は何もできません。今になって、サーキュラーエコノミーの定義(この TC323 でどのような ISO(国際標準規格)を決めるのかを決める)作業グループを作ることになりました。WG2～4 からそれぞれ 2 名の代表が加わり急いで議論します。この TC323 は TC207 (環境マネジメント)を含む他の TC でやっていないことを扱う約束なんです、それがどういうことなのか今から議論するというのですから、ほんとうに間抜けですね。

・WG2: Guidelines on business models and value chains : サーキュラーエコノミーのビジネスモデルを扱うことになっています。タイトルを Guidance や Value Network に変えようという議論が出ています。

・WG3: Measuring circularity framework : サーキュラーエコノミーの Indicator(指標)を集めます。マクロ(国、地域)、メソ(企業のバリューチェーン)、ミクロ(企業)、ナノ(製品)レベルでいろいろな指標がある、ということが共通の理解になったと思います。この WG の主な発言者は ISO/TC207 の LCA の仲間が多いです。

・WG4: Specific issues of circular economy. Technical Report (TR) on Performance based approach for circular economy : いろいろな事例を集めた TR(技術報告)を作るといことになりました。

・WG2～4 のワーキングドラフト(WD)を書く作業は、WG1 の定義が決まった後に始まることになりました。来年の 1 月には最初の WD を出すということです。

・総会は ZOOM で行われ 300 人くらいの方が参加しました。各国代表一人だけにした。発言が許されませんでした。オンライン会議も便利になりましたが、まだまだリアル会議にはおいつきません。

## ■■ 特集 ■■

### 『新型コロナウイルス：日本の New Normal』

今回は、メール会員の皆様に「コロナの前で変わったこと」を聞きました。6月17日（水）～6月22日（月）に届いたものです。到着順に掲載します。

---

・一番は、業務上での会合もプライベートでの交流も Zoom（オンラインシステム）を活用することになった点だと思います。打ち合わせ、委員会、会議など、外部の方との接点の持ち方は、感染防止対策の一環でオンラインでのやりとりに全て変更されました。しばらく外出ができないことは”とても”残念ですが、Zoom 等の利用が一般的になり、遠方の方との接点を頻繁に持つようになったことは良かったと思います。また、プライベートでも”Zoom 飲み”のように、年末年始や帰省のタイミングでしか、同窓会を開くことはできなかったですが、この機会に、ということで大学同期 20 名ほどと交流することができました。

・これまでも Zoom のようなオンラインシステムを利用すること自体は出来ましたが、その方法が一般的でなかったため、活用機会がありませんでした。ただ、コロナの影響によって、社会全体で価値観が変わったと思います。(30代・男性・稲葉研卒業生)

--

(稲葉)私は禁酒を命じられていますのでオンライン「お茶会」を経験しました。おいしそうなケーキを分けてもらえないのがやさしかったですね。

---

・働き方がテレワーク中心になり、時間の使い方、お金の使い方、体の動かし方が、大きく変わりました。・時間の使い方：通勤時間がなくなり、その分家族との時間が増えました。・お金の使い方：外食が減った分、スーパーで少しいいものを買うようになりました（外国牛⇒国産牛など）。・体の使い方：通勤がなくなり、明らかに運動不足となり、その結果少し不健康になっております。(30代・男性)

----

(稲葉)私も太りました。解除になったので糖尿病の経過診察を受けたら運動をするように言われました。コロナは避けることができたんですが、別の病気になった人が増えた気がしますね。

---

コロナ以前はウォキングを 1 週間に 3 日ほどでしたが、外出自粛から毎日、3 km 程を夕方に歩いています。このため、体力は以前よりもついたように感じています。(70代男性)

----

(稲葉)えー！ 健康になった人もいますか???

---

勤務に関しては、在宅勤務が非常に多くなり、出張は全く無くなりました。一方、テレビ会議が多くなり、Teams と zoom を導入しました。休日は、比較的田舎に住んでいるので、子どもを人の少ない公園で遊ばせたり、緑の多い場所で虫取りをしています。(遠出したいと騒いでいる時もあります。・・・) (30代・男性)

---

(稲葉)そうですね。それが普通です。

---

・基本、在宅勤務で、混んだ電車に乗るのは嫌+少々怖く。「自分は公害病は大丈夫というエリート意識」は良くないと言われた世代、「自分もコロナウイルスに危ないかも」、孫が来ても外食→テイクアウトへ、サプライチェーンへの関心も、以前はハイテク技術関連中心が対象→マスク等の医療保険用具、医薬原料品へも興味、コロナ後のサプライチェーン変化は LCA への影響も大き

いのでは？

--

(稲葉)サプライチェーンがほんとうにかわるんでしょうか？ 大震災の時もサプライチェーンの脆弱性を克服することが必要と言われました。それを検証した研究をどなたかご紹介ください。

---

・在宅勤務がメインとなることで、家族と接する機会が増えました。仮に残業をする際でも、一旦夕食を家族と共に取り、その後業務を続行、という進め方ができるのはありがたいところです。一方で、在宅勤務がメインになったため、仕事上のコミュニケーションが若干めんどくさくなったと感じています。特に社内のメンバーとのやり取りは、以前であれば直接声掛けして立ち話レベルで済んでいた内容でも、いちいちメール、電話、チャット、ウェブ会議等を利用せねばならず、ハードルが上がった印象があります。(？代・男性)

---

(稲葉)オンラインで外部の人とのコミュニケーションが楽になったという意見がありました。社内のコミュニケーションはどうなんでしょうか？ 社内の運営構造・労務管理など問題がたくさんありそうに思います。そもそも会社に行かなくて良いということは、その仕事がなくとも良いということではないかと思ったりもします。極端すぎますか？

---

・以前から週に数日、1時間程度ゆっくり（本人は一生懸命ですが他人から見ると、です）と走っていました。ずっと在宅であまり動かないので、体重を気にしてほぼ毎日走るようになりました。しかし、体重は減らずむしろ少し増え気味でした。それが、コーヒーを飲んだら少し減りました。本当に体重が減るのかどうかわかりませんが、自分自身が信じてしまっているので、コーヒーを飲むのを止められなくなりました。たくさん飲むわけではありませんが、マイブームのようなもので続けています。(？代・男性)

---

(稲葉)コーヒーの新たな都市伝説が生まれたようです。。。今回は健康に良い（と信じている）モノの特集にしますかね。

---

・在宅勤務が主となり通勤しなくなった。これにより次のような変化が起きました。家族との時間が増え（特に夕方～夜）、夕方の犬の散歩が日課の一つとなった。社内外を問わず打ち合わせがWEB会議のみとなった。移動の時間が無くなったため会議の数が増え、ある意味効率が向上した。一方、参加者の顔の表情がわからず場の空気を理解することが難しくなった。睡眠時間が長くなった。今後気を付けていきたいこと：在宅と通勤とをミックスした勤務の仕方を模索していきたい(？代・男性)

----

(稲葉)仲良しの家庭は良いのですが、もともと問題がある家庭はさらに悪化するようです。「コロナ離婚」もあるとか。。。「持病」は早く治す努力が必要ですね。

---

・勤務の仕方：2月27日に会社の対策本部から在宅勤務の指示があり、3月初旬から在宅勤務を開始しました。たまたま、技術士事務所の開設準備のため、自宅のWi-Fi環境の強化、インクジェット複合機の老朽化更新、端末の増設、リモート会議用のマイク付きヘッドセットとスピーカーフォンの購入、等の対策を講じていましたので、不自由はありませんでした。反対から見れば、上場企業の在宅勤務、リモート会議も社員の給与からの投資のお陰で維持できているという皮肉な結果と言えます。他方、在宅勤務はON/OFFが難しいため、ついつい勤務時間が延長勤務になっています。そのため、資格試験の勉強を始めました。上期は国家試験、下期はISO14001の審査員研修受講を計画しました。その勉強のため、18時までに業務を終えるように工夫するようになりました。

・毎日の過ごし方：3月、4月はマスクやアルコール手指消毒液の購入でドラッグストアの前に何回も並びました。5月からは筋肉体操を一生懸命に行っています。混んだ地下鉄に乗りたくないため、古いコンパクト自転車を再生して、近場の買い物に利用しています。・遊びに行く計画：孫がまた小さいので、コロナウイルスに感染しないため、今年は遊びに行く計画はすべて白紙になりました。ただ、京都、神戸、大阪はインバウンドの外国からの旅行者が少ないうちに、ゆっくり出かけるチャンスです。秋になったら、少しずつ近場の日帰り旅行を計画したいと家内と話

し合っています。

・お仕事の内容：企業のサステイナブル社会への参加とともに、新製品の開発とLCAによる環境影響評価の実施を相談されることは変わりません。もう一步進むと、環境適合設計DfEになります。そのため、エアバッグ事業には、部品（取付用ねじの長さ、ピッチなど）の統合化、ハウジングの金属容器の軽量化、小型化のためのガス発生剤（火薬）の変更、等にDfEの考え方と簡単な評価シートを提案しています。（?代・男性）

----

（稲葉）勤務時間が長くなる人もいるんですね。私はできる限りサボるようになりました。それで、LCAFのスタート準備が遅れています。困りました。

・1. 毎日の過ごし方：以前は、時折、知人と会って一杯やる機会がありましたが、今は全然ありません。家で夕食時にビールを飲む回数が減少しました。家内と買い物に行っても、店に入らず、車で待っていることが多いです。机で、パソコンでネット閲覧したり、読書する時間が増えました。

・2. 勤務の仕方：出勤と在宅勤務を交互にすることを目指していたのですが、ほとんど出社し、在宅勤務は週1日程でした。中途採用を担当していて、面接等もしなければならない特殊事情もありますが、電車が空いていて、いつも座れるのは良かったです。

・3. 遊びに行く計画：年に1度、家内と海外旅行に行くことにしており、何とか過去3年は行けましたが、今年は諦めています。

以上ですが、早く以前の生活に戻れたらと思います。（?代・男性）

---

（稲葉）通常勤務に近い人もいたんですね。中途採用の面接はオンラインだったのでしょうか？通勤して仕事がオンライン？

・仕事も一時期テレワークになりましたが、今は通常勤務（時差通勤あり）となっています。外出・来客はめっきり減り、オンラインでの会議が増えています。また、お昼はお弁当がほとんどになりました。ワンウェイプラを減らしていこうとしている中、ジレンマを感じています。（40代・男性）

---

（稲葉）新たな問題提起ですね。全体的に消費は低調ですが、新たに増えている消費もありそうです。

・緊急事態宣言が出てから、夫婦とも完全な在宅勤務に変わりました。それ以前は昼間はほぼ家に不在でしたが、現在はほとんどテレワークですませています。家の周辺は、神奈川県といっても田畑の中にある住宅地なので、住宅地内はマスクをしている人が多い反面、田植えなどをして人にはマスクなど関係ない雰囲気です。食事も家族揃ってとることができ、家の中では”蜜”な時間を過ごしたり、お互いの興味のあることをするようにしています。休日も、家族の一部趣味が実施できない状況になっており、家の片づけ、物置小屋づくりといったDIY、野菜作りなどに精を出しています。

・とはいえ、今のペースに落ち着くまでには暫く微妙な関係が続いていましたが、1か月?くらいたったころからお互いのパターンを理解し、生活することに慣れました。一方で、「コロナのために困ってます」といった食材を多くネットで購入し、運動不足の上に、食事はたっぷりというあまり良くない状況にもなり、最近は少し自粛しています。

・そういった意味で、コロナ後は家で生活を充実でき楽しむことができていると思っています。いろいろな制限が解除され、人の移動も多くなってきましたが、長距離通勤はしたくないという感覚です。ただ、さすがに7月からは週1回くらいは出勤しようと予定しています。（?代・女性）

----

（稲葉）家にいるのが長くなると「出不精（でぶしょう）」になります。それが高じると「引きこもり」ですよ。私と同じですね。

・子供の通う幼稚園が分散登園となったため、妻が出勤している休園日は在宅勤務になりましたが、子供の相手をしないとならず、全然仕事が捗りません。一方で、勤務先は複数の拠点を持つ

ていますが、すべてオンラインで済むことになったため、最寄りの拠点だけ通えばよくなり、拠点間の移動がなくなった分は、仕事が捗っています。他社での仕事もオンラインで済み、移動時間がなくなって、有り難い限りです。3月からずっと、自宅と最寄りの拠点のある市町村の外には出ていません。(40代・男性)

---

(稲葉)ほんとうにお仕事に支障がないんですか？ そうだとすると、今までの「普通じゃなかった」のですね。。。。

---

・皆様も同じでしょうが、テレワークで劇的に変わりました。イヤホンマイク、大型モニタを購入し、家でも会社と完全に同等の効率の仕事ができる体制ができました。飲み会が無くなり、出費が激減しました（というかほとんどゼロ）。小遣いを家計に自主返上しました。通勤時間が無くなったため読書時間はむしろ減少気味です。図書館は閉館、近くの本屋もつぶれた（コロナのせいかどうかは不明）ため、本の入手手段がなくなり（娘はアマゾン活用）、積ん読していた本が活躍しました。・勤務時間後もテレビを見ながらメール整理するようになってしまいました。（これは仕事ではないと信じておりますが、ワークライフバランス的にはかなり危ない行為…）

----

(稲葉)メール整理は仕事でしょう！ テレワーク機材の代金は会社に請求できましたか？ 誰かが書いていましたが、テレワークは働く人の給与からの出費で成り立っているのでしょうか？

---

・4月半ばから5月いっぱいまでテレワーク、6月中も原則テレワークで、週1~2回程度の出勤になっています。手元に資料がなくて少し困ることもありますが、今のところテレワークであまり不自由は感じておらず、図らずも退職後の準備中の状態になっています。家にいてそれほど運動をしているわけでもないのですが、減量（もう少しで70kg）できつつあります。通勤時間が無くなり、夕食の時間が早くなったからかもしれません。(60代・男性)

----

(稲葉)コロナで太った人と痩せた人がいるようです。

---

・朝から晩まで、ほぼ休む間もなくずっとパソコンに向かい、Zoomで会議に参加したり、メールを処理したり、パワポを作ったり、申請書を書いたりしています。

・在宅勤務に切り替わった当初は、酒量も体重も増えましたが、まずいと思い、基本的には週末しか飲まないことにして、平日と週末のメリハリをつけるようにしています。結果的に体重は長期減少傾向です。

・子供の登校もなくなり家族一同が在宅のため光熱水料は然るべく増えましたが、交通費や昼食代が減りました。会食や飲み会が減った分は家で贅沢をし、夕食代はあまり変わりません。海外出張の際に飛行機の中で映画を観る楽しみがなくなったのが残念ですが、学生さんとの打ち合わせ回数は増えて、論文はいろいろ投稿できそうです。(？代・男性)

----

(稲葉)うーん。すごいですね。コロナでますます怠惰になった私とは大違いです。

---

・3月から毎日家族で朝食時に検温するようになりました。検温も体温当てクイズにし、ピタリ賞、ニアピン賞と勝手に呼んで楽しんでいます。3月からは小学校が休業となり、4月からは両親もテレワーク。WEB会議や動画教材を見る機会が増え、5月のインターネット通信量が100GBに。無制限プロバイダに変更しておいてよかった。。。8月にはいつもの海へ家族旅行に行きたい！予約はしたものの回りの海水浴場が営業していないと3密に？(40代男性)

----

(稲葉)3世代のご家庭は賑やかでしょうね。うらやましいです。海水浴は今年は無理のようです。

---

・私の勤める大学でも、本年度は原則オンラインで授業を行っており、ツールに慣れるのが大変なのはもちろん、学生たちとコミュニケーションを図るのに苦労しています。特に、新入生向けの実習の授業を、オンラインで理解させるのは相当無理があります。秋以降も授業やイベントが

どうなるか未だ決まっておらず、学生たちの不安や不満は募るばかりです。本来であれば大混雑する通学バスに、ゆったりと座って通勤できることだけがメリットです。(40代・男性)

----

(稲葉)同じ大学でも新入生と大学院の学生では学生も教員も対応が違うでしょうね。また、大学によっても違うように思います。NEWSではその違いがなかなか伝わってきません。。。

・3月末以降、原則テレワークが続いているため、全ての会議がオンラインになりました。懇親会もオンラインになりました。直接人と会う機会が少ないのは寂しいですが、逆に普段会えない遠方の人とは、今までより頻繁にオンライン上でコミュニケーションが取れるようになりました。今後は、人と会うことを大切にしながらも、オンラインの良さも取り入れたいと思いました。(30代・女性)

----

(稲葉)ISOのミーティングをオンラインで経験しました。オンラインは既に知っている人とのコミュニケーションには便利なのですが、初めての人と仲良くなる機能はリアル飲み会には追いつかないように思いました。ミーティングが終わった後にビールを飲みながら「どこから来たんですか?」「そちらのCOVID19は?」という会話ができるようにならないと、特にもめているテーマの時には、ISOもうまく行かないように思います。

・大学の講義が遠隔授業が主体になりました。新たなツール、手段を身に付けたとも言えますが、仕事の仕方や大学の在り方が問われているようで迷いもあります。学生の反応も、大学に行かなくて便利という声もあれば、友達ができない、会えない、人と会わずに日々が過ぎる不安と慣れも生じてきています。

・電気代は、環境負荷の発生場所が、自宅になってきています。生活を見直す良い契機(部屋の掃除や整理が進みました)になりましたが、環境への優しさを推し量る尺度や手段がありません。生活が変わると、変わろうとすると、その変化に対応しようとするので、そのストレスから「便利」であるかどうか最優先されます。そして、生活方法がまた固定化すると、他の尺度から変わることは難しいように思います。

・家、部屋の役割が重要になってきています。家をイメージすると、住宅ローンが一番に思い付いたのですが、今は、家の有用性、どちらかという、非有用性を強く感じます。人生において、家、住まいが凄く大切だと、家族と共々感じる事が多くあり、良くしたいと思います。正にライフサイクル、LCAで何か指針が出せると良いですね、一生、住まいに住むのだから、よろしく願いいたします。(?代・男性)

----

(稲葉)「住」も含めて、ライフスタイルと環境は「持続可能な消費」の大きなテーマです。「生活習慣を変えることは難しい。変えるトリガーは何か? 環境教育をトリガーにするにはどうしたら良いか?」というのが今までの議論だったのですが、コロナが習慣を変えるトリガーになったんですね。持続可能な消費(SDGsの12)について新しい見方が増えると思います。

・以前より、食生活が健康的になったように思います。飲み会が減り、家で食事することが増え、体調に気を配るようになったので。

(30代・男性)

----

(稲葉)家で過ごす時間が増えた影響は、家族構成(たとえば独身のひとと3世代など)によっても違うと思います。しかし、やはり大きいのは個人の考え方、自己管理でしょうね。

○(稲葉)いろいろなご回答を見ますと、これを機会に勤務の仕方や生活を変えて適応することに積極的な人と、早く元に戻りたい人と2つのタイプに分かれるようです。私は早く元に戻りたいタイプですね。そうしないと、毎日パジャマで過ごし(オンラインも下半身はパジャマですみませんから。)、よく食べ・太り、持病が悪くなり、家族に疎まれ。。結局、一人で生活リズムの管理ができないのだと反省しています。県をまたいでの移動もできるようになりましたので、密にならないように気をつけて、温泉にでも行きたいですね。。(温泉でもオンラインはできますから)

■■ 編集後記 ■■

○ISO の会議に出ていますと、英語ができる若い人が多くて、ほんとうにうらやましいです。私は、地方で育ち高校を卒業して東京に来るまで外国人を見たことがなく、Dr をとって今の産総研に就職しても 3 年間は海外出張は御法度と言われ、3 年後に米国に留学（在外勤務？）する時には所属の課長以下全員が成田空港に見送りに来てくれるという時代を過ごしてきましたので、英語がほんとうにできません。ISO や IPCC に参加するようになって、海外の呑み友達は増えましたが。。

○皆さんは気がつかれましたか？ New Normal のアンケートにご回答を頂いた中に女性は 2 人しかいないのです。LCAF メール会員の数も順調に 50 人以上になりましたが、（数えてみたら）女性は 7 人しかいません。海外の LCA 関連の研究集会では女性が 8 割くらいになります。日本は LCA の領域への女性の進出はまだ遅れているようです。（稲葉が女性に人気がないだけ？）

○PCR 検査？ 私は、PCR はカーボンフットプリントの「製品カテゴリールール(Product Category Rule)」だと思っていました。

私の興味だけで記事を書いています。おもしろがってくれる人がいてくれるなら、とてもうれしいです。⇒感想をお送りください。

（LCAF 理事長 稲葉 敦）

-----  
ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで  
contact@lcaf.or.jp

-----  
一般社団法人 日本 LCA 推進機構  
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)  
（エルカフと呼んで（読んで）ください）  
〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1  
インフィニティ池袋 8F52  
電子メール：contact@lcaf.or.jp  
URL: <http://lcaf.or.jp/>